

対象年度	平成31年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	地域未来塾運営事業						予算事業名	地域未来塾運営事業費						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
			10	05	03	2201	政策経費							
総合計画体系	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文 4-2生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・ ②地域教育体制の充実 その他						事業の区分	主要事業						
							担当課係等	生涯学習課						
								生涯学習係						
事業期間	継続 (平成29年度～平成32年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、 学習習慣が十分に身につけていない中学生の学習意欲を高め、学力の 向上を図り、貧困の連鎖を断ち切る。また、地域住民に対しては、学 習支援活動を通して、地域の教育力の向上と、地域の活性化を図る。						子供の貧困対策に関する大綱(平成26年8月29日閣議決定)に地 域による学習支援が示された。小山市「学びの教室」月2回土曜日の 午後に公民館等3カ所で開催。								
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】								
地域住民(教員希望の大学生、元教員、青少年健全育成団体等)の協 力を得て、学習が遅れがちな中学生対象とした学習支援を行う。 月2回、土曜日13:00～17:00の4時間を基本とする。自習中心。 各中学校区ごとに1教室開設。1教室あたり、学習支援員1名、教育 活動サポーター2名を配置する。各教室の連絡調整役として地域コー ディネーター1名を配置する。 運営委員会の設置。委員12名。年3回開催。事業計画、安全管理、 広報、ボランティア等人材確保、事業の検証・評価を行う。						市内中学生 地域住民								
						【事業をとりまく環境の変化】								
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の学力の向上支援</li> <li>中学生の学習習慣定着の推進</li> <li>学習支援員による活動の見守り</li> <li>教育活動サポーターによる学習支援</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の学力の向上支援</li> <li>中学生の学習習慣定着の推進</li> <li>学習支援員による活動の見守り</li> <li>教育活動サポーターによる学習支援</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の学力の向上支援</li> <li>中学生の学習習慣定着の推進</li> <li>学習支援員による活動の見守り</li> <li>教育活動サポーターによる学習支援</li> </ul>						

■事業費

		H29年度	H30年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	434	873			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	300	559			
歳入計(千円)		734	1,432			
歳 出 内 訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	08 報償費	633	1,268			
	11 需用費	10	18			
	12 役務費	91	146			
歳出計(千円)(A)		734	1,432			
伸び率(%)			95.09			
備考	総合計画116ページ 予算書172ページ					

# 平成29年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	H31年度
活動指標	開催日数	日	目標	20.00	18.00	18.00
			実績	19.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	参加生徒数	人	目標	50.00	100.00	120.00
			実績	99.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地域在住の学習支援員が見守る中、学習習慣が身についた生徒が定期的に活動できている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	学習支援員や教育活動サポーターが見守る中で、落ち着いた学習環境が提供されている。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	生徒の安全面や、参加生徒の公平性を保つため、各中学校に会場を提供してもらっている。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	教育活動サポーターは、教員志望の学生であるため、生徒と関わることで、相互に効果がある。その点で、ボランティアで活動している意識もあるため、現在のコストは妥当と言える。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	駅からの距離により、交通手段の違いがある。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	今年度が初年度となるため、ここが基準となる。最後に会議を設け、反省点を生かした活動を来年は展開していく。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	学習支援員と教育活動サポーター、また、事務局が情報交換をしたり連携をとったりすることで、今後新たな取り組みも出されている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
学習支援を行うことで、学習習慣を身につけ学力の向上が図れるとともに、学習支援をとおして、地域の教育力の向上と活性化を図る事業である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
開催日時や運営体制について、生徒が利用しやすいよう事業の検証をしていく。			

## ■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）</p> <p>本年度で2年目となる事業であり、昨年度の成果を踏まえ、改善改革しながら進めていく。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>